

## 唐津くんち

唐津くんちは唐津神社の秋季例大祭です。唐津の城下町に伝承される世界無形文化財となっている。

ユネスコ無形文化遺産	平成28年（2016年）指定
国指定無形重要文化財	昭和55年（1980年）指定
佐賀県重要有形民俗文化財	昭和33年（1958年）指定

みごとな絢爛豪華な曳山は世界最大級の乾漆造で素晴らしい美術工芸品である。巡行する曳山の姿は圧巻だ。



唐津くんちの曳山

### 唐津くんちの歴史

唐津神社は天平勝宝7年（755年）に建立、御祭神は住吉3神、神田五郎宗次公、水波能女神です。唐津くんちの今の原型が始まったのは寛文年間（1661年～1673年）頃と伝わります。唐津神社の祭りの歴史は古い、しかし、現在の形式の曳山は文政2年（1819年）赤獅子（刀町）が作られることに始まった。曳山は囃子ヤマとも呼ばれました。

台車の上に乗せられた漆で仕上げられた巨大な獅子頭、台車には囃子方が載り込み、囃子を奏でながら巡行する、囃子ヤマの登場に他町は驚かされ大きな影響を与えました。

赤獅子制作以来、江戸時代（1819年）から明治9年（1876年）の間、各町内は新たな曳山を作り、14ヵ町14台となり、その曳山が現存します。

#### 曳山行事

毎年11月2日の宵山に始まり、3日（祝日）御旅所神幸、4日の町廻り（翌日祭）と盛大に行われます。14台の絢爛豪華な山笠が笛・鐘・太鼓で囃子を奏で「エンヤ、エンヤ」「ヨイサ、ヨイサ」の掛声で城下町を巡行します。

獅子や兜や鯛や亀の造形物は世界最大級の乾漆造の美術工芸品です、素晴らしい日本の美を表現するものです。

#### 宵ヤマ

翌日の御旅所神幸に備え城下町を一巡し、唐津神社を目指します。提灯に照らされ、浮かび上がった14台の曳山は幻想的です。



十一番曳山 米屋町

平安時代の中期の武将源頼光の兜と大江山の鬼退治をした平安時代の物語を表現した意匠です。大江山の鬼退治をした四天王の一人渡辺綱は当松浦地方を支配した波多家の祖先で有り、唐津には縁の深い武人です。鬼が頼光の兜に噛衝く、激しい鬼の怒りと気迫は迫力があります。



米屋町 十一番曳山



十番曳山 平野町



2番ヤマ 中町 青獅子



5番ヤマ 魚屋町



囃子方 竹紙笛

竹紙笛は、江戸時代末大陸（中国）より伝わった明笛と繋がると考えています。竹に吹口1孔と指孔6孔を設け、その間にさらに1孔が有る、そこに竹紙（ちくし）を貼る、また調整する1孔もある。竹紙を笛の響孔に貼つけることにより独特の音色が生まれる。



私達は新町よ！



僕は木綿町だ！



我ら唐津っ子だ！



我也唐津っ子だ！

文/图: [平川清](#)

翻译编辑 JST 客观日本编辑部